

水源を共にする県内5事業者の主な水源水量

4 事業者（神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市）の共同開発に係る水源水量

相模川河水統制事業（川崎市の東京分水 230,000m³/日を除く）

<主な貯水・取水施設>

○相模ダム（S22年完成）、沼本ダム（S18年完成）

<水源水量>

相模川河水統制事業		
水道事業者	取水地点	水源水量（m ³ /日）
神奈川県	沼本	120,000
横浜市		394,000
川崎市		150,000

相模川総合開発事業

<主な貯水・取水施設>

○城山ダム（S40年完成）、寒川取水堰（S39年完成）

<水源水量>

相模川総合開発事業			
水道事業者	取水地点	水源水量（m ³ /日）	
神奈川県	沼本	60,000	247,000
	寒川	187,000	
横浜市	寒川	243,000	
川崎市	沼本	272,000	
横須賀市	寒川	147,000	

相模川高度利用事業

<主な貯水・取水施設>

○寒川取水堰（S47年施設改良完了）

<水源水量>

相模川高度利用事業		
水道事業者	取水地点	水源水量（m ³ /日）
神奈川県	寒川	37,600
横浜市		41,700
横須賀市		7,100

4 事業者の共同開発に係る水源水量の合計

4 事業者の共同開発に係る水源水量の合計		
水道事業者	取水地点	水源水量 (m ³ /日)
神奈川県	沼本	180,000
	寒川	224,600
横浜市	沼本	394,000
	寒川	284,700
川崎市	沼本	422,000
横須賀市	寒川	154,100

神奈川県内広域水道企業団に係る水源水量

<企業団の概要>

- 昭和 44 年に水道用水の広域的有効利用、重複投資の回避、施設の効率的配置と管理及び国の補助金の導入を図る目的で設立

企業団創設事業

<主な貯水・取水施設>

- 三保ダム（S54 年完成）、飯泉取水堰（S48 年完成）

<水源水量>

企業団 創設事業		
水道事業者	取水地点	水源水量 (m ³ /日)
企業団	飯泉	1,564,300

企業団相模川水系建設事業

<主な貯水・取水施設>

- 宮ヶ瀬ダム（H13 年完成）、相模大堰（H9 年完成）

<水源水量>

企業団 相模川水系建設事業		
水道事業者	取水地点	水源水量 (m ³ /日)
企業団 (第 1 期事業)	社家	621,000

- ・本事業の施行にあたり、事業を 2 期に分割
- ・第 2 期事業については、安全な水の安定供給に支障がないと判断される間は事業計画を策定しない
- ・相模川水系建設事業（1 期・2 期）の開発水量は 1,300,000 m³/日

企業団相模川水系寒川事業（暫定事業）

- 相模川水系建設事業（第 2 期事業）による計画水量の一部を、既存の寒川取水施設等を企業団が暫定的に利用し、神奈川県、横浜市及び横須賀市に供給する事業

<貯水施設>

- 宮ヶ瀬ダム（H13 年完成）

<暫定的に利用する主な施設>

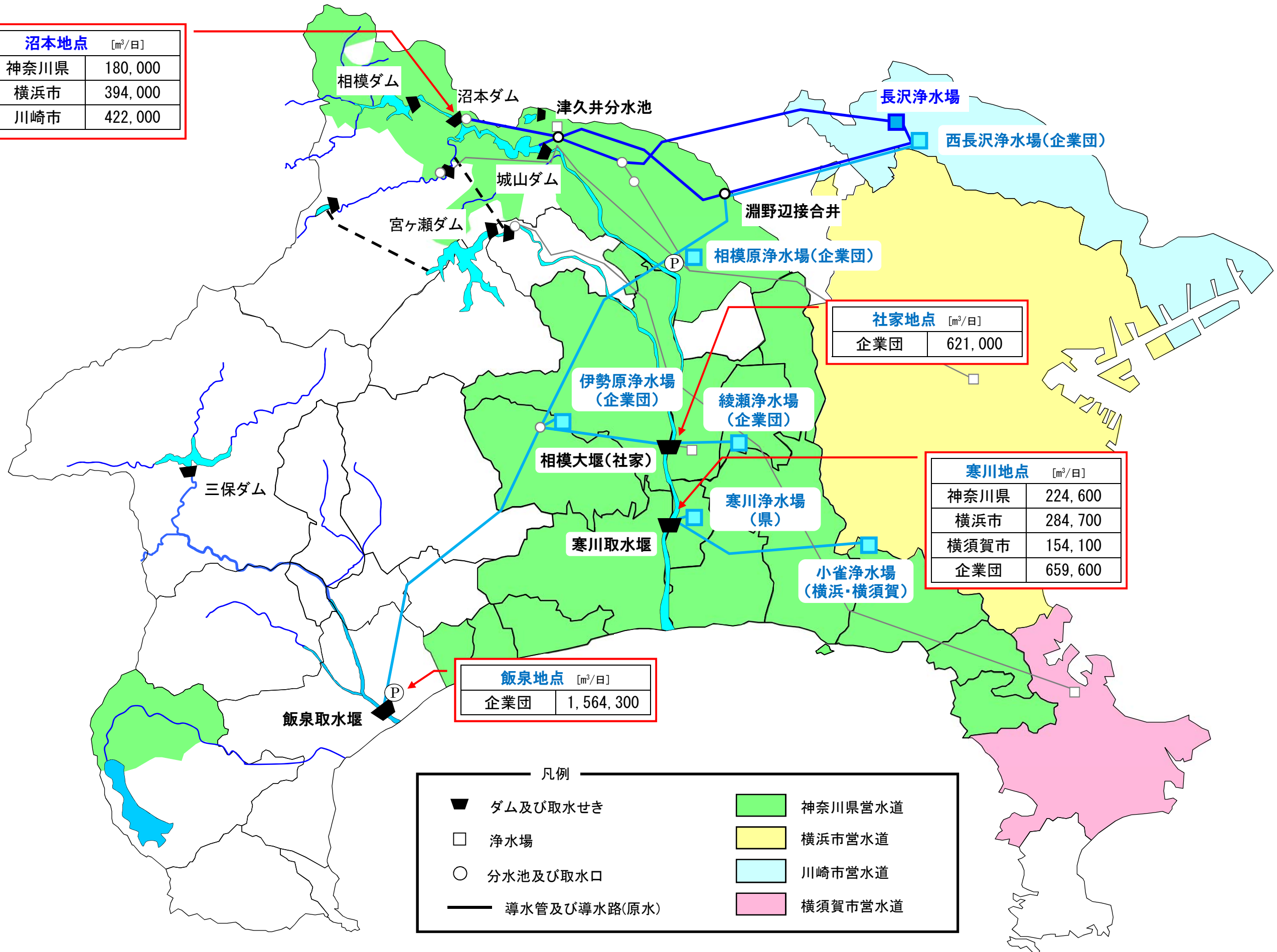
- 寒川取水堰、寒川浄水場（神奈川県）、小雀浄水場（横浜市）

<水源水量>

企業団 寒川事業		
水道事業者	取水地点	水源水量 (m ³ /日)
企業団	寒川	659,600

水源を共にする県内5事業者の主な水源水量

沼本地点 [m ³ /日]	
神奈川県	180,000
横浜市	394,000
川崎市	422,000



社家地点 [m ³ /日]	
企業団	621,000

寒川地点 [m ³ /日]	
神奈川県	224,600
横浜市	284,700
横須賀市	154,100
企業団	659,600

飯泉地点 [m ³ /日]	
企業団	1,564,300

凡例	
▲ ダム及び取水せき	■ 神奈川県営水道
□ 浄水場	■ 横浜市営水道
○ 分水池及び取水口	■ 川崎市営水道
— 導水管及び導水路(原水)	■ 横須賀市営水道